

参考: 著書:「我慢力を育てるしつけの知恵」 著者:多胡輝

こどもの我慢力を育てるために書かれた本ですが、大人になったからか、自営業しているからか我慢することが少なくなり、ちょっとしたことでイライラしちゃっているのでは?と思い、イライラしないためには我慢する事も大切だよね~!と思い、買った本です。

この本は、子供を育てる親向けに書かれた本なので、子供のしつけで悩んでいる方には、とても参考になると思いますよ。

その本で、粘り強さを養うために書かれてますが、大人用に変換して書きます。

私が小さいころは、失敗をしたら叱られるというのは、当たり前でした。

何してるの?と頭ごなしに叱られる感じ。

このような叱られ方が多いと、失敗することが強烈に記憶に残ってしまい、

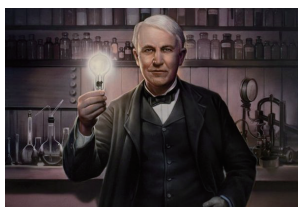
「失敗=恐れ」となってしまうかもしれません。



そうならいたら失敗をする度に萎縮してしまい、どうしよう、どうしようと思いがストップ。

さきほども少し書きましたが、悪いことは悪いことだけじゃなかったりします。

そこからの気づきもあるわけで、恐怖で思考がストップしていたらもったいないことをしています。



電球を発明したトーマス・エジソンの格言にもありますね。

「私は失敗したことがない。1万通りのうまくいかない方法を見つけただけだ！」

このように考え次第で、失敗=残念ではなく、失敗=成功ということになるわけです。

つまり、人生成功だらけ! こう考えることができるようになれば、楽しい人生になりますよね!

当院にお越し頂いている方の7割は、30~50代が占めていて子育て真っ最中の方が多いです。

子供にはどうしたらいいの?と気になる方も多いと思うので、この本で紹介されている、子供に粘り強さを養うための方法についても書きますね。

その方法は、「もう一度やっごらん?」と言うだけ。

なぜやるのか?、何が失敗だったのか?、それは言わずにやらせます。

そうすることで、子供は何が間違っていたのか自分で考えるようになり、次に生かせるようになります。

失敗を振り返り、改善点をみずから考えるようになり、反省をするようになる。

こうすることで、失敗は、そこから学べる大きな財産となって子供に戻ります。

粘り強さこそ、我慢強さに繋がります。



子供だけではなく、すでに大人の私にも、とても参考になりました。